

2021年11月1日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、リサイクル原料を100%使用したエスレンウッドパネル（発泡ポリスチレン製ボード）を開発し、「PRCパネル」として販売を開始しました。

リサイクル原料を100%使用した 「エスレンウッドパネル」を開発

1. 開発の背景

「エスレンウッドパネル」は、発泡ポリスチレンシートの板状成形品です。主に商品PRにおけるPOP広告の芯材用途など、屋内のサインディスプレイ制作に幅広く使われています。

これまでリサイクル原料50%配合のエスレンウッドパネルを提供していましたが、環境保全に配慮した製品を求める市場ニーズを踏まえ、リサイクル原料を100%使用した「PRCパネル」を新たに開発しました。

2. 特長

- ① リサイクル原料を100%使用した環境負荷の小さい製品です。
- ② 従来品と比べ、生産時におけるCO₂排出量を約70%削減できます。
- ③ 従来品と同等の品質を保持しています。



POP広告使用例

3. 今後の展開

積水化成品グループは、環境と共生するモノづくりを原点とし「環境リーディングカンパニー」を目指し、従来から注力している3R活動(Reduce、Reuse、Recycle)に加え、2R(Replace、Re-create)を含んだ「SKG-5R」を推進しています。「PRCパネル」は、この中の「Recycle」における開発のひとつであり、限りある資源を有効活用するだけでなく、生産時のCO₂削減も行っている一例です。この開発にとどまらず、私たちは事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上